

政府研究開発データベースについて

1. 目的

国費で行われる科学技術活動に関し、研究費の流れの把握、評価の質の向上を図るためのデータベースを構築する。

2. 内容

科学技術関係経費全てを網羅するデータベースとするため、次の3種類のテーブルを収録する。

(1) 研究開発課題テーブル

競争的資金による研究、プロジェクト研究（国が定めた明確な目的や目標に沿って推進される各種の研究開発）について収録する。各課題について、予算額、重点研究分野分類、参画する研究者等のデータを含む。

(2) 研究機関テーブル

国費で運営される国研、独法研、特法研、大学等について、上記（1）で計上されない基盤的経費（人件費、施設費、経常研究費等を含む。）を収録する。その他、職員数、外部資金等を含む。

(3) 施策事業テーブル

従来から科学技術関係経費に分類された各種施策のうち、上記2項目に分類されないものを収録する。

また、上記（1）研究開発課題テーブルにリンクする、研究評価、成果等を収録する評価テーブル及び参画研究者の基本情報を収録する研究者テーブルを作成する。

3. DBから得られる知見と効果

(1) 資金分布の把握

省庁別、資金受取機関別（国研、独法研、特法研、大附研、国立大学他）、経費別（研究費、施策事業費、人件費、施設費、その他の経費）、会計別（一般会計、特別会計及びその細分）、他

研究者別

資金制度別（競争的資金他）

研究分野別（重点8分野）、研究キーワード別

施策別（知的基盤、研究評価、研究支援他）、他

- ・重点化資金決定のための資料
- ・研究費適正額の見積り
- ・研究開発制度、分野、研究実施機関の関係の明確化
- ・研究者への資金の不必要な重複の排除
- ・基本計画のフォローアップ、他

(2) 研究者分布の把握

省庁別、研究機関別

研究分野別（重点 8 分野）

性質別（年齢、学位の有無）

種類別（研究員、女性研究者、研究支援員、外国人研究員、ポスドク、任期付他）

- ・ 研究分野別・種類別研究者の人数、レベル、配置の把握
- ・ 人材育成戦略の推進と検討の資料
- ・ 共同研究、産学官連携の促進
- ・ 評価者候補プール
- ・ 基本計画のフォローアップ、他

(3) 評価データ把握による効果と知見

公正で透明な評価プロセス構築のための体制整備

評価に基づく適正な研究費の配分

評価委員（レビューア）や事務局担当者の評価に対する認識と実力の向上

評価委員（レビューア）の的確な選定とその効率化、質の高い評価者プール構築

⑤ 副次的効果

- ・ 研究課題、プロジェクト、プログラムの立案時の参考資料、意見収集、キーパーツの選定
- ・ 研究成果、研究情報の活用を推進、人材情報の提供
- ・ 産学官連携、共同研究、融合研究の推進
- ・ アカウンタビリティ向上
- ・ 研究プログラム、研究開発制度、科学技術政策のフォローアップと政策立案の参考資料

(4) データ加工機能

ランキング機能

各種登録積算機能

4. これまでの作業状況と当面のスケジュール

- | | |
|--------|---|
| 2月～3月 | 関係府省連絡会議を開催し（3月2日）、データベースの概要を説明、収録項目、作業手順、活用方法等について協議。 |
| 4月 | 収録項目等確定。科研費データ収録依頼。 文部科学省が科学技術関係経費分析表作成。 |
| 5月～7月 | 科学技術関係経費分析表のチェック。各種 ID 付与方法の決定、入力フォーマットの作成。関係府省への入力様式の提示と作業依頼（12年度決算及び13年度予算） |
| 7月～12月 | 関係府省による入力作業。14年度データベース概算要求。分析・利用・出力システムの開発 |
| 1月～3月 | データベース試行（システム、データ等の修正） |